

富田市長の改革を全力で応援！

宮川 豊史  
(久留米ハートネット)



富田電馬新市長の誕生により東久留米市の新時代の扉が開かれ、この9月議会でもちゅうおう保育園の民営化など多くの改革項目が示され、新たな改革の道を進み始めた。誰でも得意分野があれば苦手分野もある。それをお互いが補うのが富田市長が目指す組織。富田市政がこれから進む道には多くの困難が待ち受けているが、改革の強い意志があれば大丈夫。みんなで力を合わせて一つずつ壁を乗り越えてほしい。富田市長は反対勢力と戦う決意はあるか？改革には痛みが伴うが、新しい時代に合った行政サービスを生み出すためにこの改革は避けては通れない。

届けます！現場の声を市政に！

引間 太一  
(ニューウェーブ)



河川に汚濁等が発生した場合の市の対応を伺う。  
答弁 現地を確認した上、必要に応じてオイルプロッターやオイルフェンス等を設置し、汚濁の拡大防止措置を図る。また、さらなる河川への流入を防止するため、周辺の雨水ます等の調査を行い、原因が特定できた場合は、直ちに原因者に指導を行うなど、その原因を排除するとともに、原因者の費用負担において雨水管の清掃を実施することとしている。  
質問 駅西口昇降施設内の犯罪防止や発生した場合の対応として、防犯カメラの設置を提案するが、見解を伺う。  
答弁 現在、本施設は法適合に向けた取組を進めており、この状況を踏まえた上で、犯罪防止等の観点から、まずは田無警察署や鉄道事業者に対して施設における犯罪の発生等について伺うなど、調整を行っていく。

命を守る方策を再優先に！

細谷 祥子  
(都民ファーストの会)



医療・介護は病院や専門に任せただけでなく、命を守る医療の充実にも取り組んでいただけたらどうか伺う。  
市長 まず一次救急で診療・治療を行っていたらいい市医師会をはじめ、二次、三次救急についても引き続き連携を密に行っていく。  
質問 带状疱疹ワクチンについて、市の方向性は。  
答弁 本年11月より償還払い方式で助成の申請受付を開始。本年4月以降の接種者までさかのぼって対象とする。  
質問 防災・脱炭素を視野に、下谷橋調節池の利用について伺う。  
市長 調節池としての機能を妨げることなく、活用できる財源の確保等を含め、効果的な活用に向けて考えていく。  
質問 空き家対策。福祉の増進や産業の発展などの視野で取り組むべきだが。  
答弁 国や都の動向を注視し、市の実情に沿った方策の調査・研究を進める。

不登校、電子図書、ごみ袋バラ売り

右崎 むやい  
(国民民主党)



不登校児童・生徒は、別室学習や、登校が難しい場合は家庭で過ごすケースも多いと聞く。本市の対応は。  
答弁 教室に入ることが難しい場合は、校内別室での個別学習や、教室での授業をタブレット端末で閲覧しての学習などを行っている。登校が難しい場合は、学習適応教室を利用するケースもある。  
質問 電子図書の検討状況は。  
答弁 クラウドサービス利用料などの経常的な経費を伴いながらも、利用できるコンテンツが少なく最新の本の発売直後の提供が難しいなど、魅力ある環境づくりが望めないと考え、早急な導入の検討はしていない。  
質問 指定収集袋のレジ袋としての活用普及の取組について伺う。  
答弁 リーフレットを配布し呼びかけるほか、市商工会とレジ袋としての利用について認識を共有し、取扱店舗数の増加につながるよう努めていく。

# 市政のここが聞きたい

第3回定例会の一般質問は、9月4日～7日の4日間で行われ、21名の議員が当面する市政運営について市長の姿勢や考え方を質問しました。主な内容を掲載します。一般質問を含む第3回定例会の本会議の録画映像は、市ホームページのインターネット映像配信でご覧いただけます。会議録は、11月下旬から、市ホームページ（PDF版は11月中旬）または、市立図書館、各コミュニティ図書室、市政情報コーナー（市役所1階）でご覧いただけます。

生成AIの活用について

島崎 孝  
(自民クラブ)



生成AI（Generative AI）の活用について東京都が活用ガイドラインを発表したが、その内容について把握しているところを伺う。  
答弁 生成AIの活用について、東京都デジタルサービス局より、本年8月に文章生成AI活用ガイドラインを策定した旨の公表がされている。その内容は、文章生成AIの特徴、活用可能性とリスクから、効果的な活用方法、有効な活用分野のほか、事例や利用者アンケートなども記載され、分かりやすいものとなっており、本市でも参考になるものと考えます。  
質問 生成AIの利用について、本市での検討状況を伺う。  
答弁 生成AIの検討状況について、近隣市で試行実施が始まっていることは認識している。現在進行しているDXの取組の進捗を鑑みながら検討を進めている。

市役所本庁舎の改修整備について

当麻 一哉  
(自民クラブ)



市役所本庁舎の今後の改修整備等の検討状況について伺う。  
答弁 DX推進を支えるためのオフィス環境や情報通信インフラ等の整備など、多くの課題への対応を計画的に進めるため、その検討に着手していく必要がある。今年度内に一定整理し、令和6年度以降、経営戦略本部で検討体制の構築などの議論等をしていくことを想定している。  
質問 認定こども園・幼稚園も、市の要支援児保育審査会の対象として審査会の認定を受けることで、東京都の補助対象とできないか。見解を伺う。  
答弁 市の保育施設等については、医師の診断書等や要支援児保育審査会により認定された児童を保育士の加配の対象としている。審査会の認定が都の補助要件と同等のものとして扱えるかなど、補助の条件については都へ確認するなど調査・研究していきたい。

共生社会実現のために

関根 光浩  
(公明党)



介護認定が下りるまでの期間短縮のため、デジタル化をしていくべきと考えるが、市の見解を伺う。  
答弁 都において公募のあった行政手続等デジタル化推進事業に応募し、採択が決定したことから、令和5年5月より、東京都デジタルサービス局および都がBPR支援業務を委託する3つの事業者、庁内BPRを推進する行政経営課と共に検討を重ねている。  
質問 来年4月に開設される（仮称）こども家庭センターの役割について。  
答弁 子ども家庭支援センターで、学校や教育委員会と連携を密にし、ヤングケアラーと思われることへの支援に取組んできており、来年度以降はその役割を引き継ぐ。小中学校や地域包括支援センター等と連携し支援に当たるべき機関と、国や都のマニュアルを共有するなど、ヤングケアラーの早期発見につながる体制の構築を目指す。

若者への支援もまた将来への投資

三浦 猛  
(公明党)



奨学金返還支援制度を実施している自治体の要件はさまざまある。コロナ禍をりモット授業で過ごした大学生等を対象にするといった考えも可能ではないか。特別交付税措置により市負担分の財源が軽減されるのであれば、本市もこの制度を検討できないか。  
答弁 今後の近隣市の動向や東京都制度への市内中小企業の登録状況等を見視していく。  
質問 多摩北部都市広域行政圏の枠組みを活用して、高校生世代を中心に、地域の若い世代を、地域でダイナミックに盛り上げる野外音楽フェスを実現できないか。学校間の枠を超えた交流や触発を一層深めてもらいたいという思いがある。また、不登校でも音楽やダンスを頑張っている方もいる。  
答弁 まずは所管として同協議会幹事会で提案し、各市の状況などを伺っていく。

公立保育園の存続を

永田 雅子  
(日本共産党)



公立保育園は、セーフティネットの中核としての多面的な支援や、保育の経験・スキルを蓄積し全市民的な保育の質の向上に寄与するといった重要な役割を担っている。公立保育園の存在意義について、市の見解を伺う。  
答弁 公設公営保育園は、児童福祉法や保育所保育指針、国や都の基準に基づき保育を実施しており、保育所の一つとして機能を果たしている。  
質問 地区センターにおける浴室事業について、利用者の声を聴かずに廃止すべきではない。市の見解を伺う。  
答弁 従前より事故が発生しており、さらなる利用者の高齢化が見込まれることや、衛生上の課題が生じている状況を勘案し、安全確保を最優先と判断した結果、見直しに至った。  
要望 風呂が自宅にあってもこれだけの利用者がいる。ニーズが一定ある事業である。分析を行うことを求める。

ちゅうおう保育園民営化ストップを

村山 順次郎  
(日本共産党)



ちゅうおう保育園の民営化を提案して、その代わりにどのような子育て支援の充実を図るのか。  
市長 市民の皆さまの声を受けて、必要となる事業を進めてきたが、子育て支援、こどもたちへの支援、教育環境の整備と、まだまだ進めていくべきことがある。市の財源や人的資源、そのほか市のリソースが限られている中で、あまたの要望の中から優先順位をつけてお示しすること、これがまさに市長の責任であると考えます。  
質問 駅西口昇降施設の改築という選択肢が示された経過と、改築する施設の概要について、市民に対し説明会を開催する必要があるのではないか。  
答弁 市広報・ホームページの活用や現地への掲示物設置により、適時市民の皆さまにお知らせをしている。施設の経緯や対応の進捗についても、これまでと同様な取組を進めていく。